

都市再生整備計画 事後評価シート(原案)

岸和田丘陵周辺地区

平成31年2月

大阪府岸和田市

様式2－1 評価結果のまとめ

都道府県名	大阪府		市町村名	岸和田市		地区名	岸和田丘陵周辺地区			面積	329.6 ha		
交付期間	平成25年度～平成29年度		事後評価実施時期	平成30年3月～平成31年3月		交付対象事業費	2,860	国費率	0.4				
1)事業の実施状況	当初計画に 位置づけ、 実施した事業	基幹事業	事業名 道路/地区連絡道路・区画道路、公園/区域内公園、下水道/岸和田丘陵地区										
		提案事業	地域創造支援事業/上水道/調整池/施設整備に伴う支障物件移設、事業活用調査/事業効果分析調査、まちづくり活動推進事業/まち育て支援事業										
	当初計画 から 削除した 事業	基幹事業					削除/追加の理由				削除/追加による目標、指標、数値目標への影響		
		提案事業	地域創造支援事業/施設整備に伴う支障物件移設				該当する物件がなかったため削除。				影響なし		
	新たに追加した 事業	基幹事業	高質空間形成施設/電線類地中化施設				魅力あるまちづくりや防災に強いまちづくりをめざし、電線類地中化することになったため追加。				無電柱化によりまちの景観が向上し、指標3のまちの満足度向上に寄与するが、居住が開始されていないことから、目標値は据え置く。		
		提案事業											
	交付期間 の変更	当 初 変 更			交付期間の変更による事業、 指標、数値目標への影響								
2)都市再生整備計画 に記載した目標を 定量化する指標 の達成状況	指 標		単位	従前値		目標値		数 値		目標 達成度	1年以内の 達成見込み	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期
	指標1	事業区域内における企業 数	社	0	H25	10	H29	-	13	○	あり	土地区画整理事業及び事業地内の道路・給配水等のインフラ整備について、南側の業務地エリアを先行的に整備、早期の企業誘致に取り組めたことが、多数企業との契約、操業につながった。	
											なし		
											あり		
											なし		
											あり		
	指標2	事業区域内定住人口	人	0	H25	200	H29	-	0	×	あり	定住人口の確保に向けた住宅開発事業者は確保できたものの、住宅用地の整備が土地区画整理事業工程上、後年度にならざるを得なかったことが目標未達成の要因となった。	平成32年3月
指標3	まちの満足度	%	0	H25	50	H29	-	75	○	あり	区域内の道路や公園などの整備が進められたことで、まちとしての骨格が形成され、住環境と操業環境に配慮したまちづくりが進んだことが評価された。	平成32年3月	
指標4	地域活動の取り組み	回/年	0	H25	4	H29	-	12	○	あり	平成23年に設立した岸和田丘陵まちづくり協議会が、土地区画整理事業や土地改良事業などの面整備を通じて「ゆめみヶ丘岸和田まちづくり協議会」に発展し、まち育て支援事業を通じて活発な活動が展開された。		
指標5										あり なし			
3)その他の数値指標 (当初設定した数値 目標以外の指標)に よる効果発現状況	指 標		単位	従前値		目標値		数 値		目標 達成度	1年以内の 達成見込み	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期
	その他の 数値指標1	道の駅「愛彩ランド」の利用 者数(レジカウント通過者 数)	人/年	578,376	H25				695,462			地域活動の活発化、区域内の道路の整備などにより、地区周辺の魅力が向上したが、地区内の道の駅「愛彩ランド」の利用者増にもつながっている。	
4)定性的な効果 発現状況													
5)実施過程の評価			実施内容				実施状況				今後の対応方針等		
	モニタリング		なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				なし				
	住民参加 プロセス		岸和田丘陵まちづくり協議会によるまちづくりに関するルール作りなどの協議				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 今後も地域住民が主体となった、まちの活性化につながる取り組みを推進していく。		
	持続的なまちづくり 体制の構築		まちづくり協議会の名称の公募 「ゆめみヶ丘岸和田まちづくり協議会」の継続的な活動				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 引き続き、ゆめみヶ丘岸和田まちづくり協議会の主体的な活動を推進していく。		

様式2-2 地区の概要

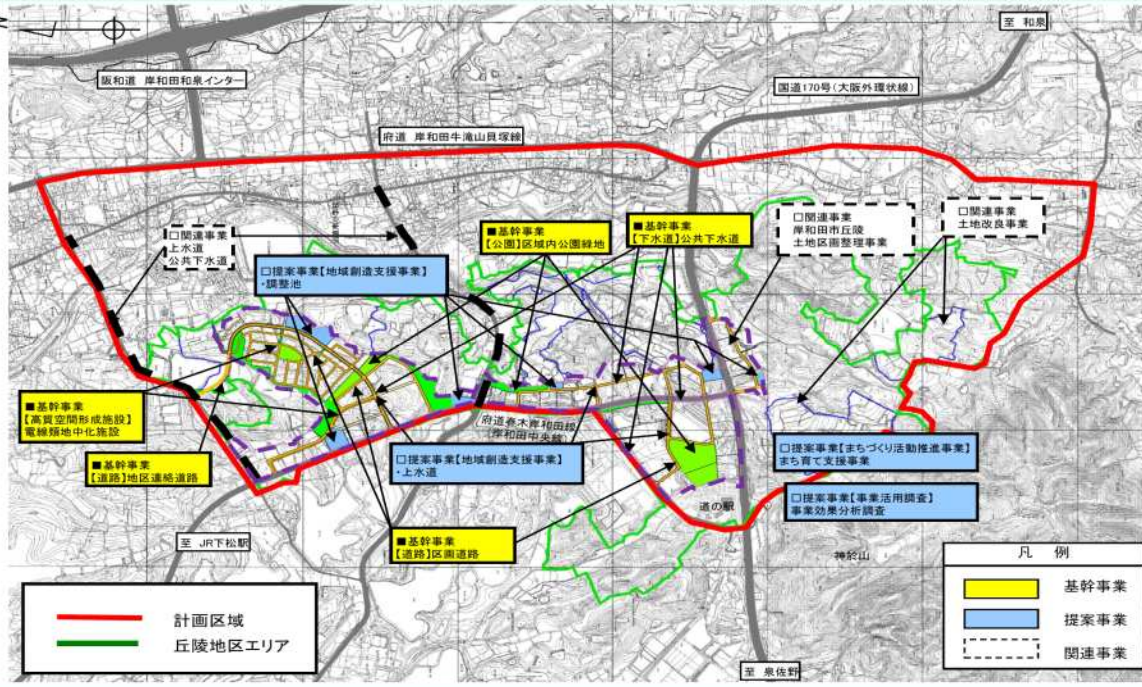
岸和田丘陵周辺地区（大阪府岸和田市）都市再生整備計画事業の成果概要									
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
地域資源を活かした産業の創出やゆとりある住宅地の形成など、周辺環境と連携した地域拠点の形成を図る 1. 土地区画整理事業により整備した業務系用地を活用した新たな産業団地の形成 2. 良好な周辺環境と調和した住宅地整備による人口定着 3. 市中央部の地域拠点として整備を図り、当該地区だけでなく周辺地域のアメニティ向上も図り、新しい都市生活を創造する 4. 地域住民が積極的に地域資源を活用し、自主的にまちを育てていけるまちづくりを目指す		事業区域内における企業数	社	0	H25	10	H29	13	H30
		事業区域内定住人口	人	0	H25	200	H29	0	H30
		まちの満足度	%	0	H25	50	H29	75	H30
		地域活動の取り組み	回/年	0	H25	4	H29	12	H30



無電柱化された住宅地エリア



区域内の区画道路



Map showing project area, infrastructure, and various development projects (e.g., road improvement, public facilities, etc.).



操業が開始されている地区内の事業所



地区の協議会の様子

まちの課題の変化	
まちの課題の変化	・土地区画整理事業の進捗により、宅地や道路、公園等の整備が進み、まちの骨格が形成された。企業も操業を始めており、新しいまちとして地域の活性化が進みつつある。今後は、自然豊かな丘陵地である地区の特徴を生かした魅力あるまちづくりを進めていく必要がある。 ・区域内の道路が整備されたことにより、交通利便性が高まり、地区内にある道の駅「愛彩ランド」の利用客が増加するなど、地域全体の活性化につながっている。 ・一方、交通量が増加しているため、安全・安心な道路環境の整備が課題となっている。 ・区域内の公園緑地が整備されたことにより、憩い・交流の空間が創出されたとともに、地区の防災機能が向上した。 ・地域が主体となったまちづくりを進めており、地区の自然環境を生かしたイベントの開催等により、地域の活性化につながっている。今後は、新たな居住者や企業の従業者も取り込みながら、まち育て活動を進める必要がある。

今後のまちづくりの方策（改善策を含む）	
今後のまちづくりの方策（改善策を含む）	・自然豊かな丘陵地である地区の特性を生かした魅力ある市街地とするため、地区計画や景観協定などにより、緑豊かで良好な都市環境の形成をめざす。 ・安心・安全な交通環境を形成するため、引き続き、区域内道路の整備を進める。 ・地域のアメニティ機能、防災機能の向上を図るため、引き続き、公園緑地の整備、活用を進める。 ・地域が主体となって行う活動への継続的な支援を行うとともに、新たな居住者や企業の従業者と地域との連携した取り組みを促進する。